



代表者	代表取締役 山田 理恵	資本金	6,000万円
連絡担当者	利府事業所 熊谷 俊彦	従業員数	50名
設立年月日	1968年4月1日	URL	https://www.tei-c.com/

事業内容	○CL事業 世界最高感度の光検出装置(ケミルミネッセンスアナライザ)の開発・製造・販売。各種材料(プラスチック、有機材料)の極微量な酸化劣化検出装置として医療用材料の品質管理、新規材料開発などに活用されている。	 【本社】	
	○ものづくり(設計・製造)事業 光・マイクロ波、レーザー等の制御装置の設計・製造。産業用・医療用レーザ装置の制御部から組立まで対応。クリーンルーム完備。		 【利府事業所】
	○技術商社事業 各種研究用計測機器、分析装置の販売。実験室構築支援、研究開発支援。		

工場・営業所 工場:宮城県利府町しらかし台6-6-6・東京支店:川崎市中原区新丸子東2-897

主要取引先 京セラSOC(株)、TOWAレーザーフロント(株)、(株)アドバンテスト、理化学研究所、東北大学、他

品質等に係わる認定 ISO9001、ISO13485、ISO14001

薬機法に係わる許可

製品・技術の特徴

- ☆産業用・医療用・通信用の光制御装置、レーザ制御装置の設計開発、試作から量産まで一貫対応
- ☆デジタル、アナログ、ソフトウェア、機構、光応用など総合技術を保有
- ☆[光]検出デバイスの制御と高感度検出および産学連携研究開発
- ☆クリーンルームなど高精度、高品質なモノづくりに対応した工場完備
- ☆ISO9001、14001対応、EMC試験、RoHS対応、CEマーク対応可能

《ケミルミネッセンスアナライザーのご紹介》

◎特徴

- ・フォトン(光子)レベルの高感度光検出
- ・従来の分析装置では検出できない極微量な酸化劣化を検出
- ・本方法は2018年、JIS K7351「プラスチックに含まれる過酸化物の微弱発光の高感度測定方法」として公示され、2022年、ISO4765として発行されました。

◎応用分野

- 新素材の酸化安定性評価 ●添加剤、抗酸化剤の効果判定
- 材料の受入・出荷検査(サイレントチェンジ対策) ●加工条件の検索
- リサイクル材の評価 ●開発期間短縮 ●活性酸素、抗酸化力評価
- 薬剤効果、疾病研究 ●過酸化脂質測定 ●菌の測定
- ポリフェノール、過酸化水素等の検出 ●薬剤酸化安定性評価
- 電子線照射履歴検出、表面処理モニター、キャビテーション、物理刺激による発光



【CLA-F55】
ケミルミネッセンス
アナライザー

《ものづくりのご紹介》

- ・電子応用装置・理化学機器のメーカーとして「光を操る技術」を中心にモノ作りをしています。レーザーパワー制御や信号処理、フィードバック制御技術を得意とし、低ノイズ、高安定な製品づくりで産業用・医療用装置の心臓部に貢献しています。
- ・各種信号をモニターしながら同時に制御を行う「フィードバック制御」は高精度、高安定装置には欠かせない技術であり、レーザー制御以外での利用場面も拡大しています。各種電源・光源・通信機器・LD制御・温度制御等で数多くの実績を有しております。
- ・産業用から医療機器まで顧客ニーズに応じた設計開発から試作、組立、検査、部品選定、RoHS対応、EMC対応も可能。年間数台から数万台まで高品質な製品を丁寧に作り続けています。